

令和3年度第1回庄内町スポーツ推進審議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年2月17日(木)午前10時00分～午後11時25分
- 2 開催場所 庄内町役場B棟入札室
- 3 出席者 齋藤正明、齋藤 禎、加藤則代、佐藤義徳、池田 理、佐藤博文、佐藤正美
齋藤雅志、金子清志
- 4 欠席者 富樫 希江
- 5 事務局 佐藤教育長、鶴巻社会教育課長、堀社会教育課主査兼文化スポーツ推進係長
林主任

-
- 1 開 会 社会教育課長(午前10時00分)
 - 2 委嘱状交付 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、省略
 - 3 挨拶 教育長
 - 4 会長及び職務代理者の選任 会長 佐藤 正美 委員 職務代理者 齋藤 雅志 委員
 - 5 会長挨拶 佐藤 正美 委員
 - 6 議事録署名委員の氏名 齋藤 禎 委員 加藤 則代 委員
 - 7 報 告
(1) 令和3年度社会体育事業実施状況について
資料に基づき、事務局説明
【委員】スポーツ推進委員の件だが、コロナ禍でなくでも活動範囲が狭まっているように思うが、来年度以降どのような体制になるのか。公民館に配置するようなこと聞こえてくるが。
【事務局】公民館に配置する件についてはこちらも初耳である。活動としては、例年どおり予定している。大きな事業としては、スポレク in しょうない、地区の運動会やレクリエーション大会のサポートをしていくこととなる、スポーツ推進委員の研修会についても自己研鑽のため実施したいと考えている。
【委員】一番大きな事業としてスポレク in しょうないがあるが、実際のところコメっちが事務などほとんどのところを担っている。町の特別職をコメっちが使うのは少し違うのではないかと感じており、事務局としてもやりづらさを感じている。実施する場合は、教育委員会が中に入るとは思うが推進委員が主体となってきっちり実施してもらいたいという要望である。
【事務局】スポレク in しょうないは、コメっちへ指定管理をお願いする際に業務委託している事業であるため、コメっち、スポーツ推進委員が一緒になって実施していると思う。
【委員】その件は理解しており、一緒に行くことはやぶさかではないが、事務的なことはほとんどコメっちが主となって行っているのが現状である。もう少し、推進委員の方々がもっと表に出る場、活躍できる場があってもいいのではないかと思います。

【委員】スポーツ推進委員の組織としては、各学区から2名程度が委員となっているが、なかなか手がいない状況である。頭数自体も少ない。コロナ禍ということでなかなか動きが取れなかったこともあり、尻つぼみになってしまっている。町の特別職という意識も持ちながら住民の健康推進、スポーツ振興に取り組んでいきたい。また、委員にも働きかけていきたい。

【会長】現在のスポーツ推進委員の人数は何人か。

【事務局】令和3年度は14名だが、今年度2名の方が辞めることになっている。現在、引き受けてくれる委員を探しているところである。

【委員】他の市町の委員の選出方法の情報を仕入れているところであるが、庄内町の場合は辞める方が後任の方を推薦するのが基本的になっている。今後は、まちづくりセンターの体育部会やスポーツ部会からの推薦もあるかと思うので、人選という部分では考えていかなければいけないと思う。

8 協 議

(1) 令和4年度庄内町教育委員会の重点と視座（案）について
資料に基づき、事務局説明

【会長】質問、意見なし。出席委員全員、了承。

(2) 令和4年度社会体育事業及び予算（案）について
資料に基づき、事務局説明

【委員】天気のいい日に、サッカー場のウォーキングコースが利用できるかと思い訪れたが、除雪がされておらず利用できなかった。現在、まん延防止等重点措置期間で体育施設が利用できない状況であるため、少し運動をしたいと考えた際にウォーキングできればと思った。冬の間の除雪はどのようになっているのかと思い質問させていただいた。冬期の除雪費用を予算化していただけないか。

【事務局】施設の管理についてはコメっちへ管理委託をしているが、本来冬期間はほたるドームのウォーキングコースを利用しているが、2月20日まで全ての施設を閉鎖しているため、町民の方へ施設の提供はしていない状況である。冬期間は、ほたるドームを活用していただくので、除雪の対象とは考えていなかった。まん延防止等重点措置期間中は、人が集まる機会をなるべく少なくしたいという観点から、町の方針で施設は提供しないとなっているため、一定ご理解をいただきたい。いずれ、施設が解放された際は、ほたるドームを利用していただきたい。

【委員】今後コロナが収束して問題がなければいいが、来年以降も同じような状況が発生した場合についても除雪費用は盛り込まないということか。

【事務局】機械での除雪は、厳しいのではないかと考える。それを含めて、冬期間は屋内の施設を利用していただくこととなっている。また、八幡スポーツ公園のサッカー場、ソフトボール場については、12月から2月までは施設を閉鎖しており、除雪をしていない。

【委員】関連して、本来ほたるドームは第1、第3、第5月曜日は休館となっているが、第1月曜日のみ開館をしている状況である。来年度から、ウォーキングコースのみ休館はせず利用できるようにしたいと考えている。八幡スポーツ公園のウォーキングコースについては、全長で650mある。そこを家庭用の除雪機で2回除雪すればできなくもないが、その場合更に駐車場も除雪しなければならなくなる。しかし、駐車場の除雪はしないこととな

っている。冬期間は、ほたるドームを利用させていただきたい。

【会長】 駐車場に関連して、体育館の東側にある緑地はいらぬのではないか。駐車場が少ないので、緑地の必要性が分からない。緑地を整備して駐車場を増やしていただきたい。大会が重なると周辺の保育園や小学校、役場の駐車場を借りるなどして対応している。

【事務局】 体育施設を含め社会教育施設全体の要求が出ているものを受け止めている。近年、総合体育館を中心に大きな改修をしてきた。引き続き手をかけられればと思うが、町の全体の予算の中でなかなか厳しいところがある。また、文化創造館響ホールが建ててから20年が経過し、施設の設備がいつ止まるか分からない状況になっていることから、そちらの修繕が必要となつてきている。町としても優先順位を固りながら整備を進めたいと考えている。総合体育館周辺の駐車場が不足している状況は社会教育課としても把握はしており、できれば関係者の皆さんからご意見をいただきつつ整備ができればと思うが、優先順位的に響ホールを対応することとしている。限りある予算ということで、ご理解いただきたい。

(3) 外部クラブのNPO法人設立及び庄内町小中学生のスポーツ・文化活動ガイドラインの取扱いについて

資料に基づき、事務局説明

【委員】 難しい問題なのではないかと思う。スイミングクラブは「C活動」となっているが、実際は中学校の部活動になっていると捉えている。そこにガイドラインの適用がないのだとすれば、考え方が分からなくなる。中学生は月曜日の部活動は休養日となっているが、ただスイミングクラブについては月曜日にも練習を行っているので、難しい判断になると思う。スイミングクラブにある程度ガイドラインの趣旨を理解いただいて、活動してもらうことにしてもいいのでは。

【会長】 水泳部はあるのか。

【委員】 中体連も出ていたと思うが。

【委員】 水泳部は、中体連も出ている。一つの課題と考えているが、中学校の管理下として取り扱っている学校と管理下外として取り扱っている学校がある。水泳に限らず他の種目も増えている。大会の時だけ教員が引率しているが、それ以外の活動は学校ではタッチしていない。余目中学校の場合は、水泳部という位置づけではあるため、今後検討していかなければいけないと考えている。

【会長】 水泳部として存続していくのか。

【委員】 現在は、全く外部の活動として捉えている。その他に、体操とバドミントンが同様の活動となっている。学校の中には部がなく、大会に出られるようにするために教員が大会当日に引率しているが、それ以外はノータッチである。水泳については、外部活動のC活動に近いと思う。この件については、来年度検討したいと思う。

【事務局】 C活動をしている団体にも町にはガイドラインがあることをこれまでも周知していたところではあり、今後も周知していかなければいけないと思う。ただ、活動の主体が第三者となっているため、強制力がないと考える。そこは一定程度ご協力をいただくという考え方になる。今後もスイミングスクールに関してもお願いはしていき、子ども達に無理のない過度な活動とならない負担にならない形で、競技力向上を目指していただきたいとガイドラインを出しながらお願いはしていく。ただそこに、強制力はないということは我々も理解をしていかなければいけないと思いますし、相手にも誤解を与えないように対応し

ていかなければいけない。今後、ガイドラインの見直しにおいて、関係者の皆さんからご意見をいただいて進めないといけないと考えている。審議会の委員の皆様からもご意見をいただいて検討していきたい。

【会長】今後、このような方向で進んでいくので、皆さんからの意見を取り入れつつということなので、よろしくお願ひしたい。また、中学校と連携を取りながら進めていただきたい。

(4) その他
特になし

9 委員からの建議事項

◆齋藤雅志委員

①体操センターの解体計画及び今後の体育施設の在り方について（代替方策）

【委員】体操センターの解体の計画があるようだが、使用団体には情報が流れてきていない。いつ、どのような形で行われるのか分からない状況なため、とても不安に思っている。もし解体するとなった時に、既存の施設でスポーツ少年団の活動をしてきたので、代替え案はあるのか、その後の在り方を教えてもらいたい。活動が存続できるような方向性も示していただきたいと思っている。

【事務局】解体計画については、体操センターは昭和46年頃に建設し、相当傷んでいる。これまでも体操センターをどのようにしていくか何度か協議がされてきたが、建物だけでなく、中に設置されているピットと呼ばれる体操器機は県の体操協会から、最終的には町に寄贈されており、町が管理している。ピットの常時設置は県内でも珍しいようであるが、競技人口の減少と常時設置することにより他のスポーツが使いづらくなってしまうことが相まって今後も維持できるかという部分では難しいと考えている。体操センターの建物自体の安心・安全の部分が確保できない状況となった場合は、修繕を行わず解体する方向で町では考えているが、現段階ではいつ解体するかは未定である。最低限の安心・安全を確保しているという考えのもと利用していただいている。今後は、直しながらの利用とするのか直さずに一定の段階で使用禁止にするのかは、明確な結論は出ていない。解体の方向性があるとなれば、関係者の皆様には説明をしていくこととなる。しかし、ここに来て建物を解体する場合に、アスベスト対策が必要になるということで、これまでの解体費用は5,000万円程度であったが、現在は倍以上の費用がかかる。解体するのも非常に難しい。限られた財政の中で、どこを優先するのか今後調整が必要である。

【委員】武道館の新築の要望をした際に、一時期体操センターも併設するとの案もあったが、解体して代替えができないとなれば、その案も復活するという案もあるのではないか。

別件で、スポーツ推進計画で県でも基本目標を定めているが、「山形の未来を拓くスポーツ文化の創造」としているが、資料6にも記載したが庄内町も県に合わせて「庄内町の良さを生かした新時代を拓くスポーツ文化の推進」または、「庄内町の良さを生かした笑顔あふれるスポーツ文化の創造」などと足並みを揃えてはどうかと考えた。

②立川地区のスポーツ推進の方向性について、③庄内町スポーツ推進計画策定に寄せて、④「スポーツ少年団改革プラン2022」（案）については関連があるので、一緒に提案

【委員】初めに、③の資料6から説明させていただく。町の教育委員会の重点と視座に「庄内町スポーツ推進計画の策定」と記載されているが、策定されているのか。この計画を基にし

て町のスポーツ推進が図られるべきであると思う。早急に計画を策定して、色々な場面に波及していくものと思う。是非策定してもらいたい。私案だが、資料として提供した。参考にしたのは、山形県のスポーツ推進計画に準拠するような形で考えてみた。県の基本方針は生涯スポーツ、トップアスリート、地域社会の実現の3つあり、そこを受ける形で考えてみた。庄内町教育振興基本計画のスポーツ関連の主要施策と併せて作ってみた。「私案1 生涯各期に対応して楽しめるスポーツの推進」は、教育振興基本計画の「(1) 健やかに生きる生涯スポーツ構想の策定と町民のスポーツ活動の推進」や「(3) 庄内町小中学生のスポーツ・文化活動ガイドラインの更なる浸透」等を具現化していく。「私案2 競技力向上へ向けたスポーツの推進」は、教育振興基本計画の「(2) 各種スポーツの競技力向上の支援」に関連してくる。「私案3 多様なニーズに対応したスポーツ推進」は、教育振興基本計画の「(4) 町民主体の社会体育施設の運営と総合型地域スポーツクラブ自立の支援」などこれらを受けながら町全体としてどのような計画がいいのかをピックアップしてみた。

先ほど、NPO 法人とガイドラインの取扱いについて話し合われたが、民間の関わりで部活動をどうするか問題があると指摘されていた。その件も競技力向上の部分にも記載しているが、今後検討していく内容として含めておくべきと考える。

④の資料7について説明させていただく。部活動の地域移行の会議でも提供させてもらったが、国の全体の流れでもこれからのスポーツ少年団活動や部活動の在り方がこんな風になっていくということがプランとして示されている。この資料の流れにのる形で町の方でも対応していく必要があるのではないかと思う。部活動の地域移行や総合型スポーツクラブへの移行的な内容も含まれている。将来的なビジョンも町として受け止めながらスポーツ推進計画に反映していくことが必要になってくるのではと思っている。大枠を作ってみたので、早急に計画を策定してもらいたい。

【事務局】委員からは、私案の作成、貴重なご意見をいただいた。スポーツ推進計画の策定については、県のヒアリングでも策定していないことを指摘されている。これまでの経過としては、教育振興基本計画にスポーツ部分の掲載があるため、新たに計画を策定しないという判断をしていたようです。しかし、そうではないということを確認しましたので、今後策定に向けて準備をしていくところです。今回、委員から資料を提供いただき、こちらとしても大変参考になると考えている。皆様の期待に添えるような計画の策定に向け、早急に作業を進めていきたいと考えている。

◆齋藤禎委員

①体育・スポーツ振興計画の策定

【委員】振興計画については、最近出てきた話ではなく何年も前から教育委員会の重点と視座に掲載されていた。なかなか進んでいなかったようである。具現化できるようにお願いしたい。平成9年当時は、八幡スポーツ公園の具現化が一番大きな振興計画であった。その後、総合型スポーツクラブができたり、体育指導員がスポーツ推進委員に代わったりして、環境が変わっている。新しい振興計画を策定すべきである。

体操センターの件について、機関の長・課長等会議の中で、総合計画の後半に入ったが、その5年の中で解体すると言っていた。まだ、決定したということではないので、まずは長く使うということともし解体するとしたら代替施設を検討することも必要だと思う。

◆佐藤正美委員

①余目グラウンド野球設備の修繕について

【会長】1つ目にバックネット倒壊防止の恒久対策について、余目グラウンドのバックネットは設置してから約半世紀が経過し、ネット及び土台の劣化が著しく倒壊の恐れが出ている。10年ほど前にバックネットが傾き、町の予算（工事費約50万円）で傾いたネットを起こし、土台部分もひび割れ等を特殊コンクリートで応急処置を行ったがあくまでも応急処置で現在に至っているため、根本的な倒壊防止の対策は出来ておらず、今度また傾きや倒壊が起こるか分からない為、早急な対策が必要と考える。令和3年4月27日に、宮城県白石市で木造の防球ネットの倒壊により、小学生1名の死亡と1名があごの骨を折る重傷の死傷事故が起こりニュースになっていたが、余目グラウンドにおいても余目中学校の野球部が活動しており、同じような事故が起こる前に対応をお願いしたい。

2つ目にライト側防球ネットの嵩上げについて、余目グラウンドのライト側の防球ネット上端はホームベースから70m弱しか距離がなく、両翼90mある笠山グラウンドより20m短い。余目グラウンドができてからしばらくはグラウンドの奥は田んぼでボールが越えても影響がなかったが、宅地造成により建物がたち、その前の道路の交通量も増加してボールが越えると建物に当たり、毎年のように苦情がきて屋根に上り損傷箇所があるかどうかを調査して現在までに損傷した事例はないが、当たり所が悪ければガラスが割れたり、外壁が壊れたりする可能性が高い。建物の損壊よりも歩行者や自動車等通行しているものに当たり、車に当たり驚いてハンドル操作を誤り事故になるなど怪我を伴う事故が発生する可能性もある為、できればあと5mのネットの嵩上げが必要と考える。

これは、野球連盟から何年も前から要望が上がってきているものであり、切に望むものである。野球連盟の要望ではあるが、子どもの安全と地域住民の理解を得たいというものであり、あったら便利だということではない。安全・安心・事故防止が一番である。是非、検討いただき、調査していただきたい。

【事務局】余目グラウンド防球ネットの企業課庁舎側のセンター付近のネットを7本今年度直した。昨年の冬の強風により鉄塔の根元が折れ、たまたまワイヤーに支えられていて倒れなかったが、ワイヤーが切れていたら道路に倒れていった事例があった。こちらについては、安全性が確保できないということで、早急に撤去しボールが外に出してしまうということで新たに支柱とネットを設置した。まずは、安心・安全を第一に考えていく。バックネットが白石市のように倒れるようであれば、当然早急な対応が必要と考える。すぐに交換とならない場合は、危険区域の使用禁止などの措置を取りながら次の対応をしていかなければならない。別の見方をすれば、武道館を八幡スポーツ公園付近に建設するとの計画があるが、いずれは八幡スポーツ公園に集約していくものと考えている。その中で余目グラウンドを今後どのようにした方がいいのかを皆様よりご意見をいただきながら、町のスポーツ施設の整備について考えていかなければならない。ただ、安心・安全が第一であることから、危険であれば使用禁止も含めて考えていく。危険な状況があるとすれば早急にご連絡いただきたい。管理者側としても常日頃から注意をして確認をしながら対応していきたいと考えている。

【委員】スポーツ施設の安全管理の提案があったが、県の計画にも記載されているが、町の推進計画にも施設設備の安全確保や事故防止の内容も盛り込んでおいた方がいいのではないと思う。バックネットだけではなく、学校教育の中でもサッカーゴールが倒れて負傷したと

いう事例もあるようである。なので、施設の安全管理という部分も含めた方がいい。

【委員】 体育施設の老朽化の問題、新設を含めた整備計画等これから早急に策定しなければならないと思う。複合型屋内運動施設の計画を策定したが、武道館もかなり危険な状態だと聞いているため、計画を早急に進めなければならないのではと思う。余目グラウンドの問題もそうだが、昔グラウンド周りは田んぼだったが住宅ができてきた。あのような場所にグラウンドがあること自体もふさわしいのかという問題も出てくると思う。そのため、老朽化と新設について早急に計画を立てていかなければならない。

10 その他

特になし

11 閉 会 (午前 11 時 25 分)